

年度	2019年度（平成31年度）		
科目	診療情報管理士 特講A、特講D 【講義形式】		
担当	房本ゆかり	使用教室	61教室
実務経験	住友ビル診療所でレセプト請求業務を担当。 大阪建設国保組合にてレセプト点検業務に従事。 診療情報管理士、診療報酬請求事務能力認定試験、がん登録実務士試験等合格		
種別	✓通年		
到達目標	診療情報管理士試験に合格する		
資格 実施月	2021年2月		
評価方法	定期試験(中間、期末)の成績70%、平常点（課題提出、授業態度、出席状況）30%の合計で総合的に評価する		
教科書等	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ 専門・8章～12章/日本病院会 診療情報管理士教育問題集 専門・8章～12章/日本病院会 DPCの理解と演習/ケアアンドコミュニケーション 医科カルテ例題集/ケアアンドコミュニケーション 参考図書：電子カルテシステムの理解と演習/ケアアンドコミュニケーション		
授業計画	<p>診療情報管理士試験受験のための認定科目 診療情報管理士の標準カリキュラムのうち、専門課程10章の内容を修得する。 実際の医療現場で入院診療報酬請求の主流になっているDPC/PDPS(診断群分類による包括支払制度)の基本知識、実務を学ぶ。 また、IT化が進む医療機関に対応するため、医事コンピュータ、電子カルテシステムの入力方法を修得し、現場で即戦力になる人材をめざす。</p> <p>【前期 特講A】 診療情報管理士専門課程 10章 (DPC・医師事務作業補助者・がん登務)の内容を学ぶ。 また、医事コンピュータを使用し、診療報酬請求事務の実務(外来)を修得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 第1週～5週 DPC制度と実務 <ul style="list-style-type: none"> ・授業の概要 ・DPCと診療情報管理士（診療情報管理部門）との関わり ・影響調査（基礎調査）と診療情報管理士 ・DPCと影響調査（基礎調査） ・病院指標の公開と診療情報管理士 ・データ精度と診療情報管理士 ・DPCデータの活用 ・問題集演習 第6週～10週 医師事務作業補助者について <ul style="list-style-type: none"> ・医師事務作業補助者の業務と体制 ・医師事務作業補助者と診療情報管理士の関わり 		

・問題集演習

3. 第11週～14週 がん登録の実務について
 - ・わが国のがん対策とがん登録
 - ・がん登録の種類
 - ・診療情報管理士とがん登録
 - ・問題集演習
4. 15週～16週 レセプト情報。特定健診等データベースについて
 - ・NDBとは
 - ・NDBの活用
 - ・問題演習
5. 17週～19週 医事コンピュータ演習
 - ・医事ナビの使用法、請求の流れ
 - ・外来カルテ入力演習

【後期 特講D】

医事コンピュータを使用し、診療報酬請求事務の実務(入院、電子カルテ)を修得する。また医師事務作業補助者の実務、DPC/PDPSの実務を学ぶ。

1. 第1週～4週 医事コンピュータ演習
 - ・入院カルテ入力演習
 - ・総括、日報、月報、診療行為セットマスターの作成
2. 第5週～10週 電子カルテ入力演習
 - ・オーダーリングシステムとは
 - ・権限設定、患者情報、問診票入力
 - ・診療行為入力(SOAP形式)、DO入力
 - ・オーダー入力
 - ・画像、検査結果貼り付け、予約入力
3. 第11週～12週 医師事務作業補助者の実務
 - ・診療情報提供書作成
 - ・診断書作成
 - ・手術同意書作成
4. 14週～18週 DPC/PDPSの理解と演習
 - ・DPC点数表による算定方法
 - ・主要診断群(MDC)
 - ・診断群分類番号(14桁コード)の構成
 - ・入院期間別点数
 - ・DPCソフトの操作方法
 - ・例題演習
 - ・総合練習問題演習